

霜降（そうこう）



10月24日頃（2024年は10月23日）。および立冬までの期間。

太陽黄径210度。

寒露から数えて15日目ごろ。

秋が一段と深まり、朝霜が見られる頃。朝晩の冷え込みが厳しくなり、日が短くなったことを実感できます。初霜の知らせが聞かれるのも大体このころで、山は紅葉で彩られます。

コートや暖房器具の準備など、この頃から冬支度を始めます。
読書や編み物をしたりして、秋の夜長を楽しむのもいいですね。

霜が降りる気温

霜が降りるには、その周辺の温度が0℃以下であることが条件ですが、気象庁で発表される気温は地上から1.5mの高さで観測しますので、気温が3℃と発表されていても、地面の温度は0℃以下になっていることもあります。

農業はもちろん、花や植物の栽培にも霜は要注意。天気予報で予想気温が3～4℃であっても霜対策をしておいた方がいいようです。

季節の言葉

◆ 秋澄む（あきすむ）

秋の大気が澄みきった様子。遠くのもののがはっきり見え、音も澄んでよく聞こえます。